

平成23年3月27日

JVA国内事業本部 審判規則委員会 規則部
指導部

FIVBローマ総会で承認されたルール改正について

FIVBローマ総会で提案され承認されましたルール改正につきまして、国内発行する平成23年度版ルールブックには印刷製本日程上、発行までに間に合いませんでしたが、2月の指導部会で下記ルールを4月から適用することといたしました。

第4条 チーム

第1項 チームの構成

1 1チームは(特定の競技規則で変更されている場合を除き)12人までの競技者、1人の監督、1人のコーチ、1人のトレーナーと1人の医師により構成することができる。

FIVB世界大会では、医師とトレーナーは前もってFIVBの認定を受けなければならない。

(解説)

国内競技会は、平成22年度と同じ取り扱いとする。

12名を超えて競技者を構成する場合は、必ず2名のリベロ・プレーヤーを登録しなければならない。12名以下の場合は、0～2名のリベロ・プレーヤーを登録することができる。

第19条 リベロ・プレーヤー

第1項 リベロ・プレーヤーの指名

1 チームは、競技者のリストの中から専門的な守備のためのリベロ・プレーヤーを2人まで指名することができる。

2 すべてのリベロ・プレーヤーは、試合開始前に記録用紙の定められた欄に記載されなければならない。FIVB世界大会では、すべてのリベロ・プレーヤーは定められた欄にだけ記録されなければならない。

(解説)

① 記録用紙の右下部の欄に競技者のナンバーと名前を記載するときは、上段にリベロ・プレーヤーを含めてすべての競技者を記載し、改めて下段にリベロ・プレーヤーのナンバーと名前を記載する。

② 昨年まで、“リベロ”欄の上段に記載されたリベロ・プレーヤーが先発のリベロ・プレーヤーとしてきたが、ルール改正により、先発のリベロ・プレーヤーと控えのリベロ・プレーヤーの区別が無くなったので、リベロ・プレーヤーの背番号の若い順に記載する。

3 試合前に監督に指名された1人のリベロ・プレーヤーが、先発リベロ・プレーヤーとなる。コート上のリベロ・プレーヤーは活動リベロ・プレーヤーである。第2のリベロ・プレーヤーがいる場合、こちらは第2リベロ・プレーヤーとなる。

- 4 試合中いかなるときでもコート上に立てるのは、1人のリベロ・プレーヤーだけである。
- 5 リベロ・プレーヤーは、チーム・キャプテンにもゲーム・キャプテンにもなれない。

第2項 服装

リベロ・プレーヤーは、少なくともジャージがチームの他の選手と対照的な色のユニフォーム（もしくは再指名リベロ・プレーヤーのためのジャケット/ビブス）を着用しなければならない。リベロ・プレーヤーのユニフォームは異なったデザインであっても構わないが、他の選手と同様、番号が付いていなければならない。FIVB世界大会では、再指名されたリベロ・プレーヤーは、可能であれば先発したリベロ・プレーヤーと同じタイプ、同じ色のジャージを着用しなければならない。しかし番号は自分自身のものを付ける。

第3項 リベロ・プレーヤーの動作

1 プレー上の動作

- (1) リベロ・プレーヤーは、バックの位置にいるどの競技者とも交代することが許される。
- (2) リベロ・プレーヤーは、バックプレーヤーとしてのみ試合に参加することが許され、どの位置（コート及びフリー・ゾーンを含む）からも、ネット上端より高い位置にあるボールのアタック・ヒットを完了することはできない。
- (3) リベロ・プレーヤーは、サービス、ブロックまたはブロックの試みをするとはできない。
- (4) リベロ・プレーヤーが、味方のフロント・ゾーン内で指を用いたオーバー・ハンド・パスであげたボールを他の競技者がネット上端より高い位置でのアタック・ヒットを完了することはできない。しかし、リベロ・プレーヤーが味方のフロント・ゾーン以外で同様なプレーであげたボールは、どこからでもアタック・ヒットを完了することができる。

2 プレーヤーの交代

- (1) リベロ・プレーヤーと他の競技者の交代は、正規の競技者交代には数えない。その回数は無制限だが、他の競技者との交代の間には、ラリーが完了していなければならない。（反則によって、ポジション4へローテーションをしなければならなくなった場合を除く）
- (2) 活動リベロ・プレーヤーが交代することができるのは、もともと入れ替わっていた競技者もしくは第2リベロ・プレーヤーのみである。競技者は、どちらのリベロ・プレーヤーとも交代することができる。監督はラリーが完了したなら、理由を問われることなく、試合中いつでも、活動リベロ・プレーヤーと第2リベロ・プレーヤーを入れ替えることができる。
- (3) 交代は、ボールがアウト・オブ・プレーの間で、サービス許可の吹笛の前に行われる。
- (4) リベロ・プレーヤーは、セット開始時に副審が、スターティング・ライン・アップを確認するまでコートに入ることはできない。
- (5) サービス許可の吹笛後に行われる交代は、サービスを打つ前であれば拒否されないが、そのラリー終了後、これは許可された手続きではないこと、さらに再発の場合は遅延行為の制裁を科すことをゲーム・キャプテンに伝える。
- (6) 交代の遅れが再発した場合は、プレーを直ちに止め、遅延行為に対する制裁を科す。次にサービスを行うチームは、その遅延に対する罰則によって決められる。
- (7) リベロ・プレーヤーおよびリベロ・プレーヤーと交代する競技者は、リベロ・リプレイスメント・ゾーンからコートに出入りする。

- (8) すべてのリベロ・プレーヤーの交代は、リベロ・コントロール・シートに記載する。(もしも電子記録用紙が使用されているなら、その電子記録用紙に)
- (9) 違法なリベロ・プレーヤーの交代は以下の事例を含む。(主に)
- ① ラリーの完了を待たずにリベロ・プレーヤーを交代する。
 - ② リベロ・プレーヤーと通常交代する選手でない選手と交代する。
- 違法なリベロ・プレーヤーの交代が生じた場合は、ローテーションの反則と同様の処置をする。

(解説)

(1) ラリーが、ノーカウントになったときは、リベロの交代はできない。

(2) サービス許可の吹笛の前であれば、何度替わっていても良い。(例えば、最初L1が入ったがL2の方が調子良かったので、L2に替わったなど)

(3) サービス許可の吹笛後、サービスが打たれる前に交代した場合は、ラリー終了後、ゲーム・キャプテンに注意が与えられる。繰り返した場合は、プレーを止めて遅延の制裁が与えられる。このときのリベロの交代は認められない。ただし、制裁によってリベロがフォワードレフト(ポジション4)へローテーションしなくてはならなくなった場合は、ラリーが完了していなくても交代が許される。

(解説)

リベロ・プレーヤーの交代方法で下記のパターンは認められるが、②の場合、★と☆が同時に行われることは認められない。

①	②	③	④
No.3→L1	No.3→L1	No.3→L1	*第2セット開始時
L1→L2	★L1→No.3	L1→L2	No.3→L2
L2→No.3	☆No.4→L2	L2→L1	L2→L1
	L2→No.4	L1→No.3	L1→No.3

第4項 新しいリベロ・プレーヤーの再指名

1 リベロ・プレーヤー2人を持つチーム

(1) リベロ・プレーヤーを2人持ち、そのうち1人がプレーできなくなった(退場、病気、負傷等で)チームは、リベロ・プレーヤー1人で試合をすることができる。第2のリベロ・プレーヤーが活動リベロ・プレーヤーとなる。再指名は認められないが、2人ともプレーの続行ができないと宣言された場合は、この限りではない。

2 リベロ・プレーヤー1人のチーム

(1) リベロ・プレーヤーが1人しか記録用紙に登録されていない場合、そのリベロ・プレーヤーがプレーできなくなったと宣言された場合には、監督はその時点でコート上にいない他のどの選手(交代した競技者を除く)でも、試合終了までリベロ・プレーヤーとして再指名することができる。監督(もしくは監督不在の場合はゲーム・キャプテン)は再指名の要求を副審に伝えなければならない。

(2) もし、再指名されたリベロ・プレーヤーがプレーできなくなった場合には、さらにリベロ・プレーヤーを再指名することができる。しかし、この場合、元のリベロ・プレーヤーは試合に戻ることは

できない。

(解説)

- ① リベロ・プレーヤーが1人になり、そのリベロ・プレーヤーが、負傷や病気になった場合やプレーの調子が悪い場合は、再指名をすることができる。再指名の方法は「リベロ・プレーヤー1人のチーム」と同様に行う。リベロ・プレーヤーとして再指名された競技者は、試合を通じてリベロ・プレーヤーとして試合に出場し、活動リベロ・プレーヤーと同じユニフォームと同じユニフォームを着るか（番号は自身と同じものを付ける）、ジャケットまたはビブスを着用する。
ジャケットまたはビブスは、各チームで準備をする。準備できていない場合は、再指名することはできない。
- ② 再指名する場合、リベロ・プレーヤーがコート上にいるときでもできる。
- ③ プレー続行ができない（プレーの調子が悪い）と宣言されたリベロ・プレーヤーは、再指名をした時点で、試合に戻ることはできない。
- ④ リベロ・プレーヤーが退場や失格になった場合は、その制裁が続いている間、再指名することができない。(第19条第5項)

(3) チーム・キャプテンが監督の要望により、リベロ・プレーヤーとして再指名された場合には、リーダーとしてのすべての特権を放棄することになる。

(4) もしもリベロ・プレーヤーの再指名が起きたなら、再指名された選手の番号を記録用紙の備考欄とリベロ・コントロール・シート（もしくは電子記録用紙が使用されている場合は、その電子記録用紙に）に記載しなければならない。再指名された選手は、新しいリベロ・プレーヤーがプレー中であることを示すジャケットまたはビブスが分配される。

第5項 退場処分と失格

もしもリベロ・プレーヤーが退場処分もしくは失格処分となった場合、チームのもう1人のリベロ・プレーヤーとすぐに交代することができる。チームに1人しかリベロ・プレーヤーがいない場合は、その制裁が続いている間、リベロ・プレーヤーなしで試合をしなければならない。

以上